

# イザヤのバビロン征服の預言



イザ 43:18~21 先の事どもを思い出すな。昔の事どもを考<sup>かんが</sup>えるな。見よ。わたしは新<sup>あた</sup>しい事をする。今、もうそれが起<sup>お</sup>ころうとしている。あなたがたは、それを知<sup>し</sup>らないのか。確<sup>たし</sup>かに、わたしは荒野に道<sup>みち</sup>を、荒地に川<sup>かわ</sup>を設<sup>た</sup>げる。野<sup>の</sup>の獣<sup>けもの</sup>、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水<sup>みづ</sup>をわき出<sup>だ</sup>させ、荒地に川<sup>かわ</sup>を流<sup>なが</sup>し、わたしの民<sup>たみ</sup>、わたしの選<sup>えら</sup>んだ者<sup>もの</sup>に飲<sup>のみ</sup>ませるからだ。わたしのために造<sup>つく</sup>ったこの民<sup>たみ</sup>はわたしの榮<sup>は</sup>譽<sup>う</sup>を宣<sup>のたま</sup>へよう。

## 1. イスラエルの民が捕虜になることを預言しました

- 1) すべてが荒れ果ててしまっても、レムナントが起<sup>お</sup>きることを預<sup>よ</sup>言<sup>げん</sup>しました (イザ 6:1~13)
- 2) 来<sup>こ</sup>られるキリストを預<sup>よ</sup>言<sup>げん</sup>しました (イザ 7:14)
- 3) アッシリヤが侵<sup>しんりやく</sup>略<sup>りやく</sup>することを息<sup>むすこ</sup>子<sup>なまえ</sup>の名<sup>な</sup>前で預<sup>よ</sup>言<sup>げん</sup>しました (イザ 8:3)

## 2. レムナント運動を預言しました

- 1) レムナントが残<sup>のこ</sup>ると言<sup>い</sup>いました (イザ 6:13)
- 2) 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>のみことばは永<sup>えい</sup>遠<sup>えん</sup>だと伝<sup>つた</sup>えました (イザ 40:1~27)
- 3) 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>が新<sup>あた</sup>しいことをなさると言<sup>い</sup>いました (イザ 43:18~21)
- 4) 起<sup>お</sup>きて光<sup>ひかり</sup>を放<sup>はな</sup>ちなさいと言<sup>い</sup>いました (イザ 60:1~22)
- 5) 大<sup>おお</sup>路<sup>おし</sup>を整<sup>ととの</sup>えて、国<sup>くに</sup>々<sup>々に</sup>の民<sup>たみ</sup>のために旗<sup>はた</sup>を高<sup>たか</sup>く揚<sup>あ</sup>げなさいと言<sup>い</sup>いました (イザ 62:6~12)

## 3. レムナントとはだれでしょうか (イザ 6:13)

- 1) 残<sup>のこ</sup>りの者<sup>もの</sup>です
- 2) 残<sup>のこ</sup>る者<sup>もの</sup>です
- 3) 残<sup>のこ</sup>れる者<sup>もの</sup>です
- 4) 残<sup>のこ</sup>す者<sup>もの</sup>です

聖<sup>せい</sup>日<sup>じつ</sup> (主<sup>しゅ</sup>の白<sup>ひ</sup>) のために、  
礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>の準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>をして礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>をささげみことばを  
私<sup>わたくし</sup>の生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>に適<sup>てき</sup>用<sup>よう</sup>することまで、すべてが礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>です  
神<sup>かみ</sup>は靈<sup>れい</sup>ですから、神<sup>かみ</sup>を礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>する者<sup>もの</sup>は、靈<sup>れい</sup>とまことによつて  
礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

🕊️、礼<sup>れい</sup>拝<sup>はい</sup>時<sup>じかん</sup>に必<sup>ひつ</sup>要<sup>よう</sup>な物<sup>ぶつ</sup>を準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>できかチエックするの<sup>つ</sup>に使<sup>つか</sup>ってください

- 聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>
- 献<sup>けん</sup>金<sup>きん</sup>
- 筆<sup>ひつ</sup>記<sup>き</sup>用<sup>よう</sup>具<sup>ぐ</sup>
- <子<sup>こ</sup>ども<sup>の</sup>祈<sup>いの</sup>り<sup>の</sup>手<sup>て</sup>帳<sup>ちやう</sup>>
- 週<sup>しゅう</sup>報<sup>ほう</sup>を<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>む



## タイトル

## 聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>箇<sup>か</sup>所<sup>しょ</sup>

-----

-----

-----

-----

-----



## 今<sup>こん</sup>週<sup>しゅう</sup>握<sup>にぎ</sup>る<sup>み</sup>こ<sup>と</sup>ば



## 今<sup>こん</sup>週<sup>しゅう</sup>の<sup>いの</sup>祈<sup>か</sup>り<sup>の</sup>課<sup>か</sup>題<sup>だい</sup>

-----

-----

-----

-----

# あらかじめ征服したダニエル



ダニ 1:8~9    ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛し、いつくしむ心を与えられた。

1. ダニエルは理由を知っていました (ダニ 1:8~9)
  - 1) イスラエルが滅亡する理由を知っていました
  - 2) 神殿が破壊される理由を知っていました
  - 3) 捕虜になる理由を知っていました
2. 「あらかじめ征服」を知っていました (ダニ 6:10)
  - 1) ネブカデネザル王の夢を解釈しました (ダニ 2:25~49)
  - 2) ベルシャツアル王に答えを与えました (ダニ 5:1~31)
  - 3) ダリヨス王時代の陰謀に勝ちました (ダニ 6:10~22)
3. 「世界征服」を知っていました (ダニ 12:3)
  - 1) 天の軍勢の長であるミカエルが立ち上がることを預言しました (ダニ 12:1)
  - 2) 救われる人と滅亡する人がいると預言しました (ダニ 12:2)
  - 3) 多くの者を義とした人は、大空の輝きのように輝くと言いました (ダニ 12:3)

せいじつ しゅ ひ のために、  
れいはい せいじんびん ねいはい  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
わたし せいかつ てきよう ねいはい  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

かみ れい かみ れいはい もの れい  
神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
れいはい  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

れいはいじかん ひつよう せいじんびん じゆんびん つか  
礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- せいしよ 聖書
- けんきん 献金
- ひっきようぐ 筆記用具
- こ 子どもの
- いの 祈りの
- てちょう 手帳
- しゅうほう 週報
- よ 読む

## タイトル

## せいしよかしよ 聖書箇所

## こんしゅうにぎ 今週握るみことば

## こんしゅう いの かだい 今週の祈りの課題

✎

---

---

---

---

---

🕊️

---

---

---

---

---

## 先に霊的征服をした3人の青年



ダニ 3:8~23 もし、そうなれば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ。神は私たちをあなたの手から救い出します。(17)

### 1. サタンの戦略があります (ダニ 3:1~7)

- 1) 強大国を通して他の国を征服します
- 2) 神殿戦略を通して、人々の心をつかみます
- 3) 偶像政治によって、人々を統治します

### 2. 三人の青年は、霊的に征服しました

- 1) カルデヤ人が、ユダヤ人を訴えました(ダニ 3:8)
- 2) 偶像崇拜しないなら、死刑にするという法を作りました(ダニ 3:9~11)
- 3) シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ(三人の青年)が偶像を拝まないと王に訴えました(ダニ 3:12)
- 4) ネブカデネザル王は怒りましたが、もう一度機会を与えました(ダニ 3:13~15)
- 5) 三人の青年は、神様が救い出すことができる、しかし、もしそうでなくても、拝まないといいました(ダニ 3:16~18)

### 3. ネブカデネザル王が信仰を告白しました

- 1) 三人の青年はものすごく熱い火の燃える炉の中に投げ込まれました(ダニ 3:19~23)
- 2) 四人が火の中を歩いていただけ、体はひとつも傷つきませんでした(ダニ 3:24~25)
- 3) ネブカデネザル王はいと高き神様をほめたたえました(ダニ 3:26~30)

聖日(主の日)のために、  
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

🕒 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- 📖 聖書
- 💰 献金
- 📝 筆記用具
- 📔 <子どもの祈りの手帳>
- 📰 週報を読む



-----

-----

-----

-----

📖 今週握るみことば

🙏 今週の祈りの課題

-----

-----

-----

## あらかじめ征服したエステル



エス 2:10 エステルは自分の民族をも、自分の生まれをも明かさなかつた。モルデカイが、明かしてはならないと彼女に命じておいたからである。

- 世の中には、人間中心主義を使う人が多くいます。ハマンも人間中心主義を使った人でした
  - 1) ハマンは総理でしたが、高慢と野望がいっぱいでした
  - 2) モルデカイとユダヤ人をみんな殺そうと良くない法を作りました
  - 3) エステルがユダヤ人であることをハマンは知りませんでした (エス 2:1~10)
- イスラエル最大の危機時代を迎えました
  - 1) 全ユダヤ民族を殺そうとしました (エス 3:1~15)
  - 2) エステルはいのちをかけて決断しました (エス 4:1~17)
  - 3) 王の前に現れたエステルは、王とハマンを宴会に招待しました (エス 5:1~14)
  - 4) ある日、アハシュエロス王は眠れませんでした (エス 6:1~14)
  - 5) 2回目の宴会で、モルデカイのために準備した木にハマンがかけられるようになりました (エス 7:1~10)
- プリムの日
  - 1) アダルの月の十四日と十五日をプリムの日として守りました (エス 9:20~24)
  - 2) 王の調書が発令され、歴史に記録されています (エス 9:25~32)
  - 3) モルデカイは総理になりました (エス 10:1~3)

アダルの月：ユダヤ暦で12番目の月の名前。太陽暦では2、3月です

聖日 (主の白) のために、  
 礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを  
 私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です  
 神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって  
 礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

🕒 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書  
  献金  
  筆記用具  
  <子どもの祈りの手帳>  
  週報を読む



### タイトル

### 聖書箇所

Blank lined area for writing the title and scripture reference.

### 今週握るみことば

### 今週の祈りの課題

Blank lined area for writing the weekly verse and prayer topic.